

井伊谷小学校児童によるヤリタナゴ(静岡県指定希少野生動植物)の放流について

ヤリタナゴは、県内では本市浜名区の小河川にのみ生息し、県指定希少野生動植物に指定されています。井伊谷小学校5年生の皆さんは、ESD[※]モデルプログラムによるヤリタナゴの保全の一環として正楽寺ビオトープ整備に関わっていただいています。

この度、井伊谷小学校5年生の皆さんは、株式会社富士通ゼネラル様からヤリタナゴとマツカサガイを譲り受け、正楽寺様、辰美園様の御協力のもと、ふじ環境研究所山田所長の御指導を受けて整備した正楽寺ビオトープに放流することになりました。

なお、本放流は、令和5年4月26日に正楽寺様、辰美園様、本市の三者で締結した「浜松市いきものパートナーシップ協定」に定める、正楽寺ビオトープの生物多様性保全の取り組みとなり、児童と共に整備作業を行います。

※ESD : Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)

○放流会概要

日時 : 7月3日(水) 9:20~10:30 少雨決行

場所 : 正楽寺ビオトープ (浜名区引佐町井伊谷 井の国公園隣)

※別紙参照 井伊谷宮より南西へ約400m、住所では浜名区引佐町井伊谷1703番地付近

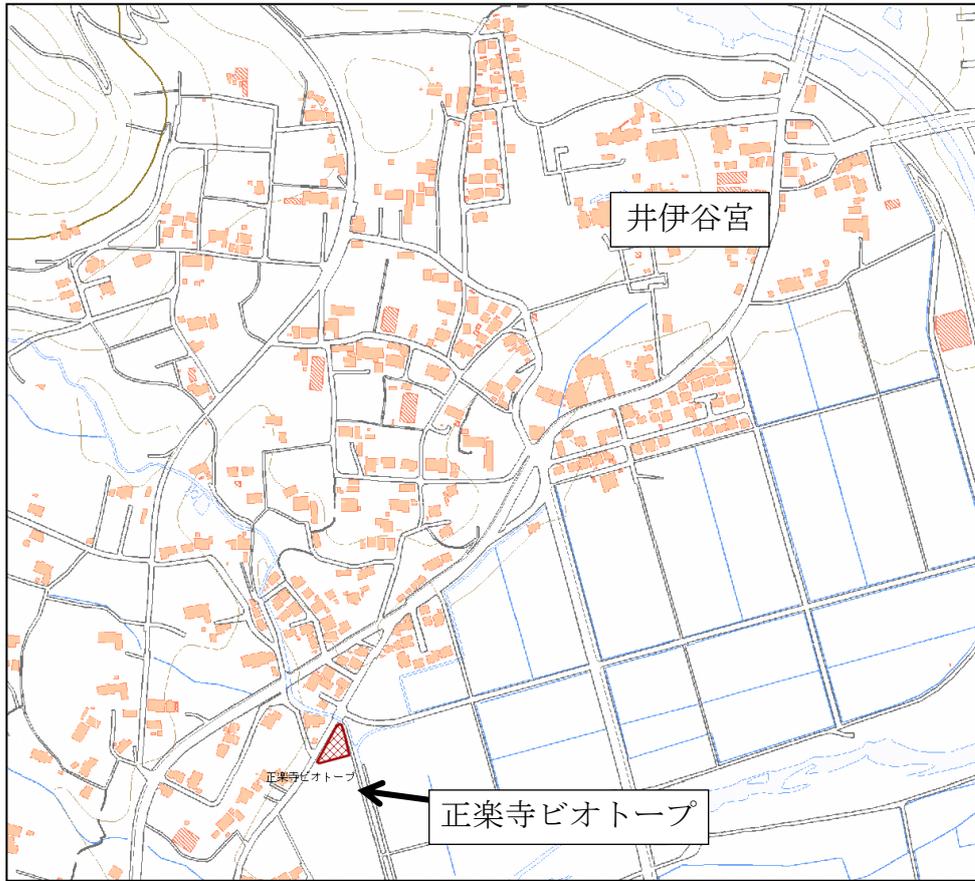
参加者 : 井伊谷小学校	5年生児童		
(株)富士エコサイクル	代表取締役社長	嶋北 博史 様	
(株)富士通ゼネラル	浜松事業所長	有留 健治 様	
正楽寺	組合長	影山 喜由 様	
辰美園		渥美 毅 様	
NPO 法人 ふじ環境研究所	所長	山田 辰美 様	
	(常葉大学名誉教授)		

スケジュール :

9:30 ~ 山田辰美先生による講義
 ビオトープの説明、マツカサガイの生息場所、流水路の修繕方法の説明
 流路整備~放流
 流路整備後、児童によるヤリタナゴ、マツカサガイの放流

10:30~ 終了

井伊谷小学校児童によるヤリタナゴ(静岡県指定希少野生動植物)の放流について【別紙】



正楽寺ビオトープ位置図



ヤリタナゴ

産卵期には、メスは産卵管を数センチにも伸ばし、マツカサガイの水管の中に卵を産み付けます。孵化した仔魚は1カ月ほど母貝の中で成長し、その後水中に出ていきます。



マツカサガイ

孵化後、グロキディウム幼生となり、魚類のヒレや体表について成長します。時期になると河床に落ちて、稚貝となります。今回のビオトープでは、メダカやドジョウを宿主